

日本放射線科専門医会・医会

CT/MRI 灌流画像の標準化に関するワーキンググループ第三回会議 議事録

平成 16 年 11 月 6 日 東京カンファランスセンター飯田橋

出席者：井田正博、工藤與亮、黒岩大三、興相征典、佐々木真理、庄内孝春、高木亮、百島祐貴（アイウエオ順、敬称略）

1) 実践的ガイドライン草稿作成について

黒岩先生、庄内先生、高木先生より CT グループの進捗状況の報告があった。文献の検索、収集が終了し、構造化抄録作成が進行していること、3 人で草稿を共有しながら肉付け作業を行っていることが報告された。構造化抄録記入については柔軟に対応して頂き効率化を図ることとした。来年 2 月終了をめでに作業を進めて頂くことになった。

井田先生より MRI グループの進捗状況の報告があった。構造化抄録に加え撮影条件などを共有のデータベースを用いて整理する作業を進めていることが報告された。引き続き作業を進めて頂き、CT グループとの整合性を意識していただきながら、来年 2 月終了をめでに草案作成を進めて頂くことになった。

2) 各社の MR 灌流画像の用語、指標、解析法について

Web ページ掲載に向けての作業を三原先生に引き続き進めて頂くことになった。

3) 各社解析画像の検証作業について

工藤先生より進捗状況の報告があった。CT 灌流画像に関してはほぼ全社の解析が終了したこと、Philips の解析が進行していることなどが報告された。一部のメーカーがソフトの改良や見直しに着手していることも報告された。

MR 灌流画像に関しては、山田先生、百島先生から提供頂いたデータの読み込み、解析が可能になったことが報告された。井田先生、三原先生にも画像に用意して頂くよう再度お願いする事とした。元画像は SE-EPI, GRE-EPI の 2 種類を集めることとした。後日、工藤先生のほうで取りまとめて頂いたデータを、各先生方に各社の解析ソフトで処理して頂くこととした。

4) ウェブページについて

百島先生より MR 灌流画像に関する内容を追加した旨報告があった。今後 Xe-CT、用語集をふくめ、内容をさらに充実して頂くこととした。

5) その他

佐々木よりワーキンググループの成果発表予定について説明があった。次回の日本神経

放射線学会で 30 分程度の活動報告が決定したことなどが報告された。百島先生より次回の日本神経学会でのご講演の際に紹介して頂けるとお話があった。

本ワーキンググループは来年度も引き続き活動を続けることで同意を得た。来年度は日本磁気共鳴医学会の助成も受けることとした。また、ガイドライン暫定版の公開、外部評価を進めながら、他のガイドラインとの連携をより一層深めていくこととした。

次回の会議は第 34 回神経放射線学会総会の会期中(2/10-12/15, 名古屋)を予定することとした。

文責 佐々木